

## 1. 共通テーマにおける取り組み

北区の特徴や課題、コロナ禍の影響等を踏まえ、北区の地域課題を抽出するために、まずは北区の地域の実情を知るところからスタートする。

### ■障害児支援機関に関する勉強会

#### ①子ども食堂；地域福祉ねっとワーカーより

10か所の食堂の取り組み・特徴等、子ども食堂ネットワークなないろの活動、フードドライブの紹介

#### ②放課後等デイサービス；VIVO SUPPORT ロペ（指定特定事業所）より

障害福祉サービスの種類・内容等の説明、特徴的な事業所の紹介

#### ③子育て支援課（家庭児童相談室）；担当課より

相談支援系の役割・業務内容、家庭児童相談室の役割・業務内容、要保護児童対策地域協議会（要対協）の対象者・目的・業務内容等を説明

#### ④子ども相談所；担当課より

役割と機能、一般相談・虐待対応の流れ、業務内容、里親制度についての説明、事例提供

#### ⑤保健センター（保健師）；担当課より

活動形態、子育て世代包括支援センターの業務、母子保健相談支援事業の業務内容、産前・産後サポート事業、産後ケア事業、母子保健事業、乳幼児健診の内容と流れ等を説明

#### ⑥スクールソーシャルワーカー；堺市スクールソーシャルワーカーより

基本姿勢、位置づけ、目的、活動形態、活動内容等の説明

### ■今年度の勉強会を踏まえて

#### □課題

- ・子どもの課題は、世帯単位の課題として捉えなければならない。仕事と子育ての両立等も課題。
- ・どのような相談をどこに、といったところは、まだ分かりにくく、具体的な取り組みを知ることは必要。
- ・教育分野との連携も含めて、つながりを意識した取り組みは必要。
- ・コロナの影響も含めて考えていかなければならない。

#### □今後の取り組みの提案

- ・事例検討等を通じて、どの機関で、どのような支援が行われているのか具体的に知る。
- ・相談支援の実践の検証（件数や内容、結果の分析）をして行く。
- ・相談支援機関、ネットワーク、ネットワーク作りを協議会で支えていく。
- ・「連携」に視点を移し、つながりをイメージできるようなことをする。
- ・縦のつながりを意識した検討を進める（キーワード；ライフステージ、見通し）

## 2. 北区独自の取り組み

昨年度の防災の取り組みで、障害種別の非常持ち出し袋の中身を検討、意見交換を行った結果を、今年度は形にする。当事者向けに何を用意、備えるのかを分かりやすい形（0次、1次、2次）で、リーフレットを作成、完成する。完成版は各支援機関で活用してもらい、当事者と支援者が作り上げていくイメージのもの。